

図-7 気温の状況

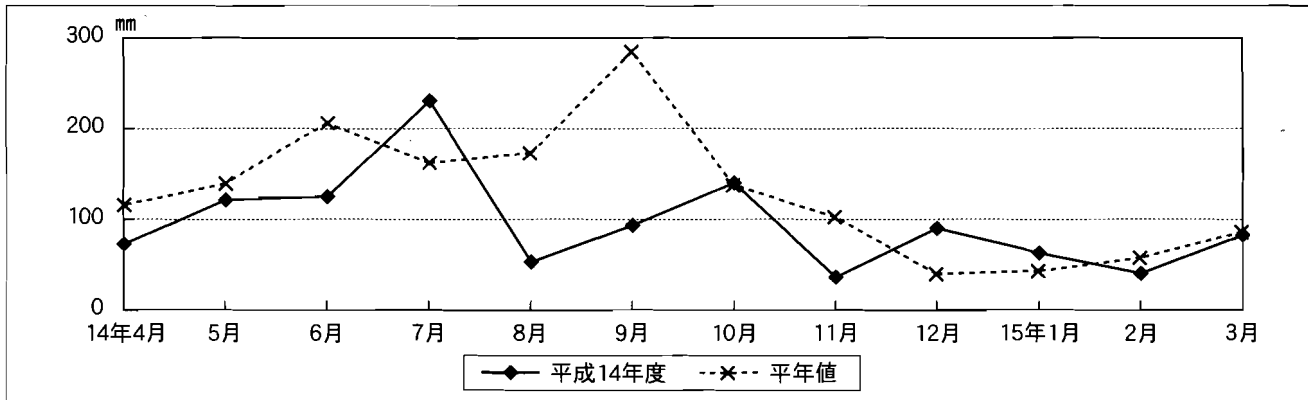


図-8 降水量の状況

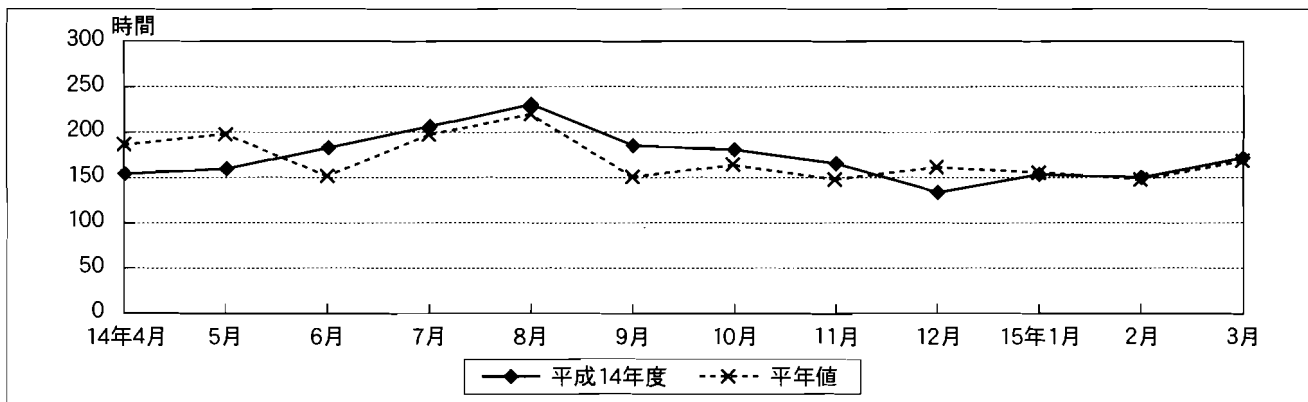


図-9 日照時間の状況

30%と少ない。また日照時間は4月と5月を除いて平年より多かった。

(2) 風向・風速との関連

高濃度発生時の風向は表-9に示すとおり、多い順にE (13.1%), ESE (12.0%), N (9.7%), S (8.5%), SE (7.9%), NNW (7.8%) となり、E~SEとN~NNWの2方向に分散している。従来はE~Sの方向が主であるが、平成14年度では、新設した池田局の地形的な影響、また注意報を発令した7月24日には台風が四国沖を西進し北よりの風が吹いたことからN~NNWの方向の比率が大幅に増加した。

高濃度発生時の風速は表-10、図-10に示すとおり、1.0~3.9m/sが中心で76.5%を占めている。過去5年間の平均割

合も1.0~3.9m/sが中心であり、平成14年度も過去5年間平均値とほぼ同様の傾向を示している。

3 オキシダント濃度の状況

(1) 全体 (18局全局)

全局の昼間の日最高値の年平均値は、表-11、図-11に示すとおり平成14年度は0.049 ppmで、過去5年間の平均値と同じである。月平均値を5年間平均値と比較すると、4月、6月、9月、10月、1月が上回り、他は全て5年間平均値を下回っている。今年は4月~6月と9月・10月に極大を示し、7月と12月に極小を示す二山型である。

表-9 高濃度オキシダント発生時の風向頻度 (時間数)

(平成14年度)

風向 局名	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	主風向
鳴門	9	2	1		4	3	9	15	6	2					4	24	NNW, SSE
松茂	12	7	4		3	12	2		2					2	2	8	NNW ~ NNE, ESE
藍住	11	7	7	2	5	10	5		1		1				9	8	NW ~ NE, ESE
北島	9	5	9	7	16	42	21	5		2	1		1	1	9	8	ESE ~ SE
川内	24	5	4	2	12	47	11	2	2	1	1	1			2	15	N, ESE
徳島	4	8	9	5	12	21	39	3	3			1			6	7	ESE ~ SE
小松島	4	5	6	1	1	3	1						1		3		N ~ NE
那賀川	10	6	2	1	16	3	7	5	14	3					1	8	N, E, S
中島	20	6	9	6	11	22	14	30	33	13	1		1	3	3	10	N, ESE, SSE ~ S
羽ノ浦	7	8		4	7	6	1	1	5	1			1		1	6	NNW ~ NNE, E ~ ESE
阿南	15	1	2		3	5	8	5	12	6	1			1	2	4	N, S
大渦	2		3	9	3	5	14	2	2	5	2	4	4	3	2		ENE, SE
山口	9	18	2	3	6	3	1	1	15	14	2	1	1			2	NNE, S ~ SSW
椿			1	13	46	13	8	8	49	33	19	9	6	4	1	1	E, S ~ SSW
鷺敷	6	1	6	4	8	11	1	1						2	1		E ~ ESE
由岐	8	5	6	8	5	3	4	5	11	25	49	2	2		3	10	SSW ~ SW
脇町	2	8	6	52	70	4						4	20	3	1		ENE ~ E
池田	26	21	6	8	13	8			1	1	5	2	3	5	22	33	NW ~ NNE
計	178	113	83	125	241	221	146	83	156	106	82	24	40	24	72	144	NNW ~ N, ENE ~ SE, S
(%)	9.7	6.1	4.5	6.8	13.1	12.0	7.9	4.5	8.5	5.8	4.5	1.3	2.2	1.3	3.9	7.8	

表-10 高濃度オキシダント発生時の風速頻度 (時間数)

(平成14年度)

風速 局名	0.0 ~ 0.9 m/s	1.0 ~ 1.9 m/s	2.0 ~ 2.9 m/s	3.0 ~ 3.9 m/s	4.0 ~ 4.9 m/s	5.0 ~ 5.9 m/s	6.0 m/s 以上
鳴門	4	10	30	25	6	3	1
松茂	2	25	16	9	1	1	
藍住	6	30	22	7	1		
北島	8	29	46	39	14		
川内		14	37	40	18	4	15
徳島	3	9	35	38	19	11	3
小松島	3	11	10	1			
那賀川	2	11	24	17	11	6	5
中島	3	25	46	52	29	12	15
羽ノ浦	1	8	16	9	8	3	3
阿南	4	20	20	13	4	2	2
大渦	14	27	13	5	1		
山口	3	14	22	17	15	5	2
椿	11	57	63	43	24	9	4
鷺敷	4	27	9	1			
由岐	12	65	43	24	2		
脇町	2	20	42	53	40	11	2
池田	33	81	36	4			
計	111	473	500	372	187	64	51
(%)	(6.3)	(26.9)	(28.4)	(21.2)	(10.6)	(3.6)	(2.9)

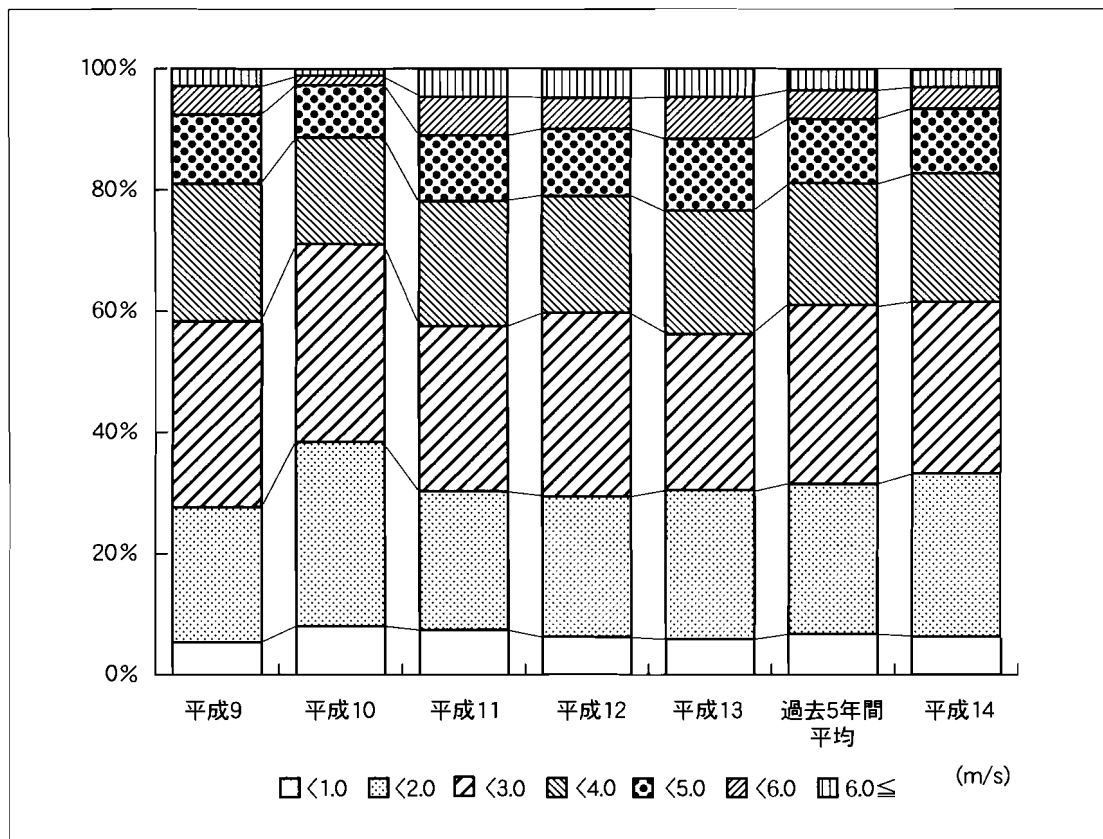


図-10 高濃度オキシダント発生時の風速別出現頻度

表-11 全局のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成9年度		0.065	0.064	0.058	0.044	0.051	0.049	0.055	0.041	0.038	0.039	0.042	0.060	0.050
平成10年度		0.060	0.065	0.056	0.055	0.061	0.055	0.046	0.042	0.038	0.040	0.048	0.048	0.048
平成11年度		0.066	0.077	0.053	0.044	0.037	0.048	0.057	0.047	0.042	0.039	0.050	0.060	0.051
平成12年度		0.066	0.069	0.055	0.056	0.042	0.047	0.042	0.033	0.033	0.037	0.039	0.051	0.048
平成13年度		0.059	0.059	0.053	0.047	0.054	0.050	0.057	0.041	0.039	0.042	0.044	0.058	0.050
過去5年間平均		0.063	0.067	0.055	0.049	0.049	0.050	0.051	0.041	0.038	0.039	0.045	0.055	0.049
平成14年度		0.064	0.063	0.064	0.037	0.041	0.055	0.055	0.041	0.035	0.040	0.043	0.051	0.049

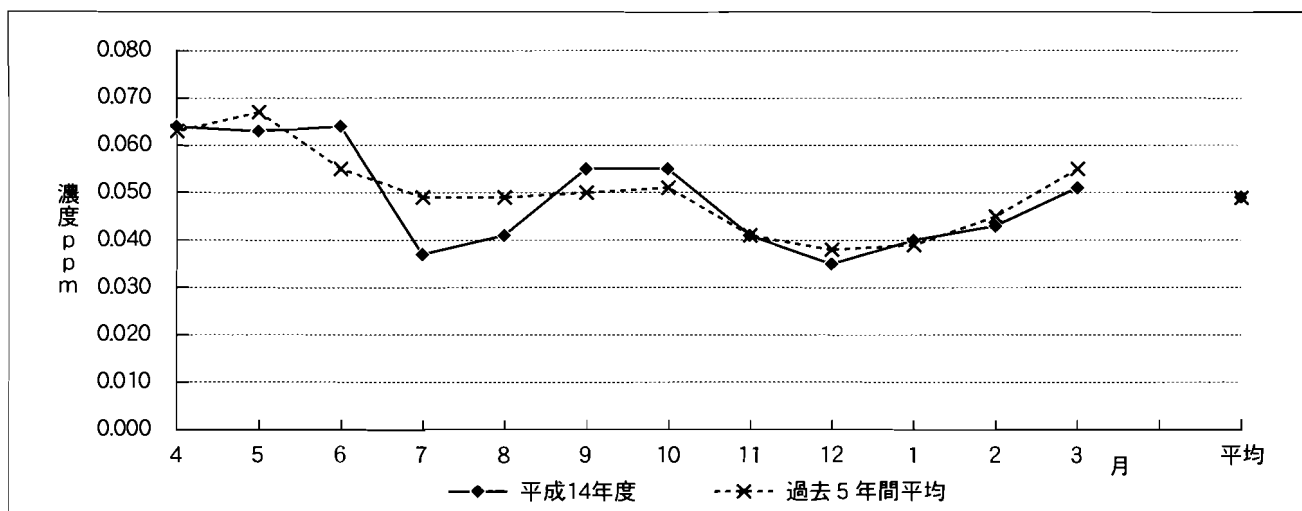


図-11 全局のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

(2) 北部地域（鳴門局～小松島局）、南部地域（那賀川局～由岐局）及び西部地域（脇町局、池田局）

北部地域の昼間の日最高値の年平均値は、表-12、図-12に示すとおり、平成14年度は0.048ppmであり、これは過去5年間平均値とほぼ同じである。月別では、6月が一番高く0.063ppmを記録した。5年間平均値と比べると4月、6月、9月～11月、1月が上回り、他は全て5年間平均値を下回っている。

南部地域では、表-13、図-13に示すとおり、昼間の日最高値の年平均値は0.049ppmで、過去5年間では最低である。月別では4月が最も高い0.067ppmで、7月は5年間平均より0.017ppm低い0.033ppmとなっている。

北部地域、南部地域とも同様の傾向を示しているが、南部地域の方が極大と極小が明瞭である。

本報より新しく地域分類した西部地域では、表-14、図-14に示すとおり、昼間の日最高値の年平均値は0.052ppmで、北部地域と南部地域に比べて高い。月別でも6月に各地域に比べて最も高い0.074ppmを記録し、7月と8月も低いとはいえず約0.05ppmあり、他地域より約0.01ppm高い。他の期間については、他地域とほぼ同じ変動である。このように6月～8月に高く推移するのが、内陸部にある西部地域の特徴である。

IV まとめ

- 1 本県における平成14年度の高濃度オキシダント発生日数は、昨年度と同じ80日であり、過去4番目である。
全国の平成14年度の注意報の発令日数は184日であり、平成12年度をピークとして減少傾向が見られる。
- 2 本県における平成14年度の注意報は、7月に1日発令された。これは、平成7年度以降8年連続である。
- 3 オキシダントの昼間の日最高値の月平均値については、太平洋高気圧の張り出しが強い夏期と気温が低く日射の弱い冬期に極小がはっきり現れる二山型になるが、平成14年度も明瞭な二山型を示した。
- 4 西部地域の「脇町局」と「池田局」は他地域に比べて6月～8月に濃度が高く、共に高濃度日数でも3位以内に入っている。今後、内陸部の高濃度オキシダント濃度の動向に注意する必要がある。
- 5 本県における高濃度オキシダント発生日数は平成7年度以降多い傾向にあり、降雨の周期等の気象条件によっても注意報レベルの濃度になる可能性があるため、今後とも注意を要する。

表-12 北部地域のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成9年度	0.061	0.062	0.057	0.044	0.055	0.048	0.053	0.038	0.034	0.036	0.040	0.057	0.048
平成10年度	0.055	0.063	0.052	0.052	0.062	0.054	0.043	0.037	0.033	0.035	0.041	0.042	0.044
平成11年度	0.062	0.074	0.050	0.043	0.037	0.047	0.054	0.043	0.039	0.034	0.047	0.055	0.049
平成12年度	0.063	0.067	0.054	0.055	0.044	0.045	0.040	0.032	0.030	0.036	0.037	0.048	0.046
平成13年度	0.059	0.058	0.051	0.044	0.052	0.050	0.057	0.040	0.038	0.041	0.043	0.058	0.049
過去5年間平均	0.060	0.065	0.053	0.048	0.050	0.049	0.049	0.038	0.035	0.036	0.042	0.052	0.047
平成14年度	0.061	0.062	0.063	0.038	0.041	0.055	0.054	0.039	0.033	0.038	0.042	0.050	0.048

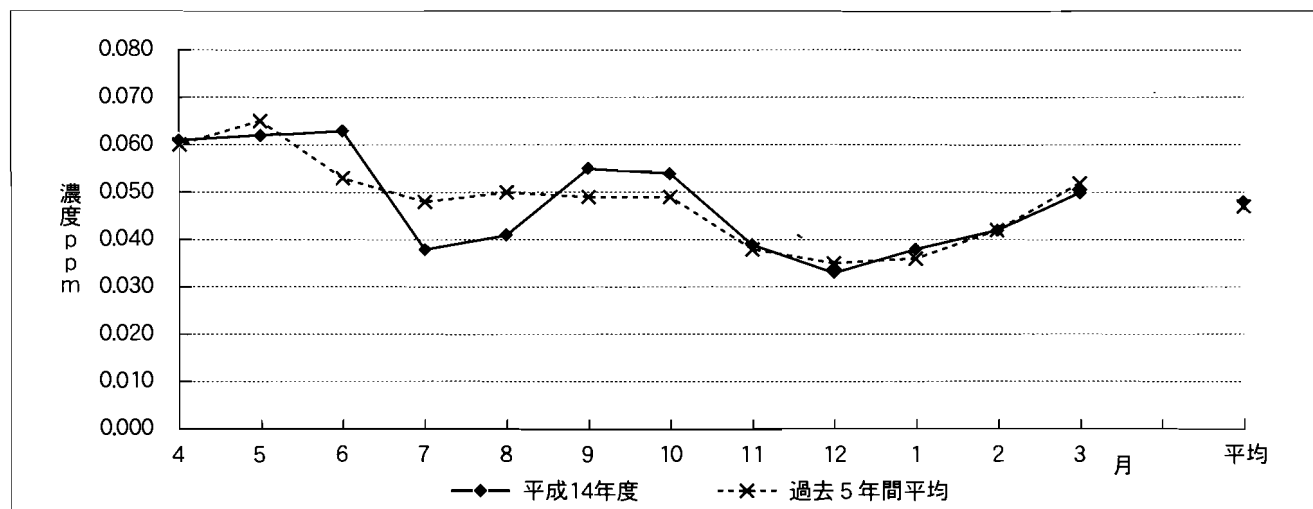


図-12 北部地域のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

表-13 南部地域のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成9年度	0.068	0.066	0.059	0.043	0.048	0.049	0.057	0.043	0.040	0.041	0.043	0.062	0.052
平成10年度	0.064	0.067	0.059	0.057	0.061	0.056	0.049	0.046	0.042	0.045	0.054	0.053	0.054
平成11年度	0.069	0.080	0.055	0.045	0.036	0.048	0.059	0.049	0.045	0.042	0.052	0.064	0.054
平成12年度	0.070	0.071	0.057	0.057	0.041	0.049	0.045	0.035	0.035	0.039	0.041	0.054	0.050
平成13年度	0.064	0.066	0.056	0.046	0.053	0.058	0.062	0.046	0.045	0.046	0.047	0.063	0.054
過去5年間平均	0.067	0.070	0.057	0.050	0.048	0.052	0.054	0.044	0.041	0.043	0.047	0.059	0.053
平成14年度	0.067	0.062	0.062	0.033	0.039	0.054	0.057	0.042	0.037	0.041	0.045	0.053	0.049

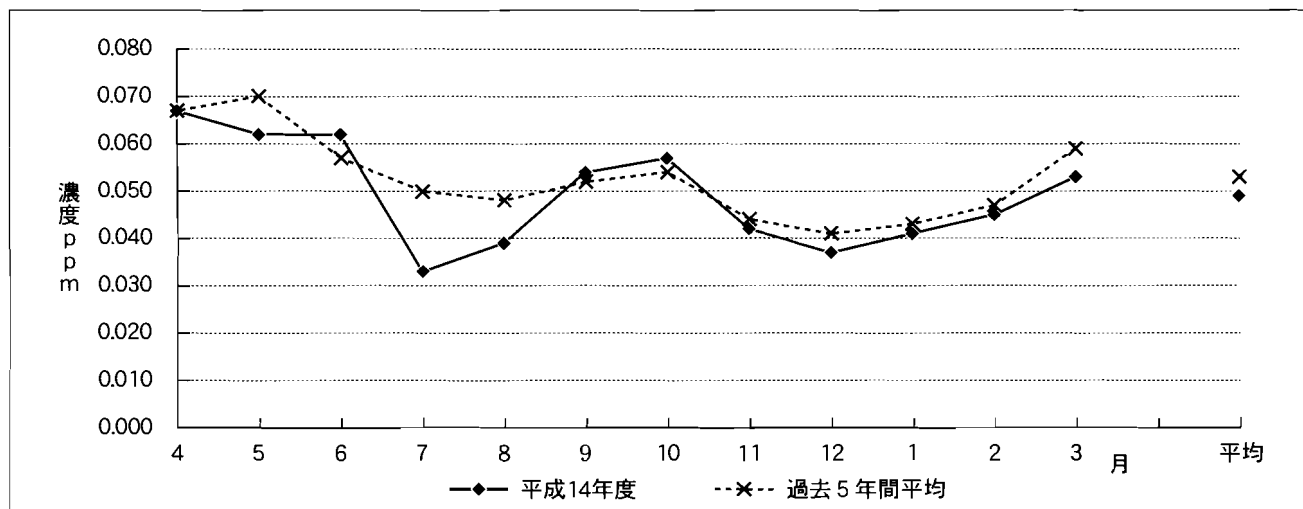


図-13 南部地域のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

表-14 西部地域のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成12年度	0.066	0.071	0.065	0.068	0.060	0.050	0.043	0.031	0.031	0.035	0.038	0.050	0.051
平成13年度	0.063	0.067	0.068	0.069	0.067	0.056	0.057	0.044	0.042	0.046	0.047	0.062	0.057
過去2年間平均	0.065	0.069	0.067	0.069	0.064	0.053	0.050	0.038	0.037	0.041	0.043	0.056	0.054
平成14年度	0.061	0.065	0.074	0.053	0.049	0.059	0.054	0.039	0.034	0.041	0.043	0.049	0.052

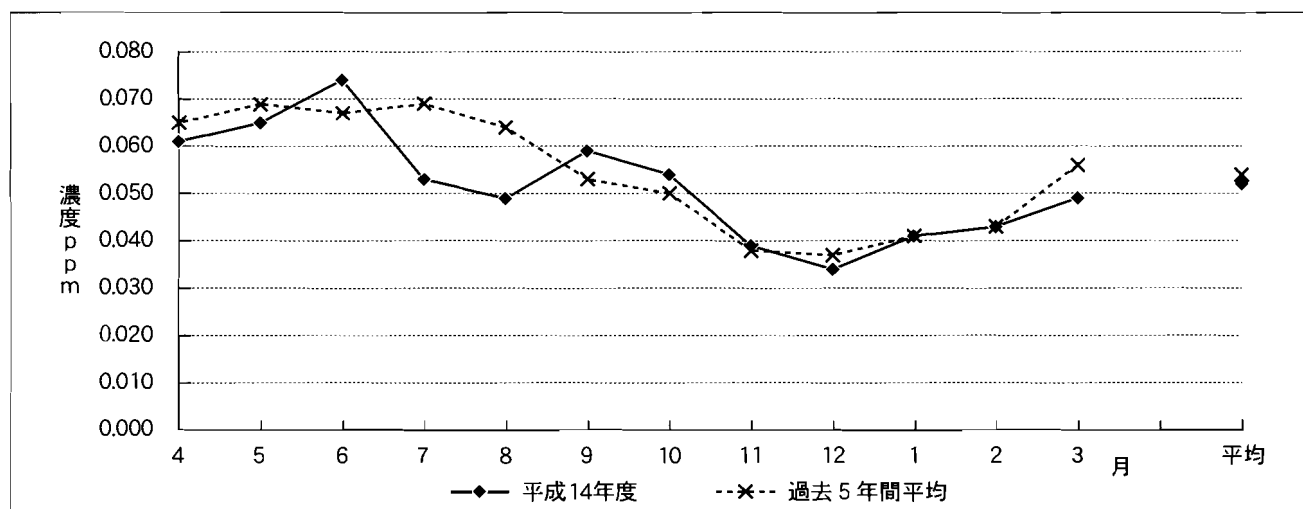


図-14 西部地域のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

文 献

- 1) 環境省環境管理局大気環境課：環境省報道発表資料，平成14年度光化学大気汚染の概要
- 2) 徳島地方気象台：徳島県の気象，2002年4月～2003年3月